

長崎県県央保健所感染症発生動向調査速報

(第 33 週週報)

第 33 週（2026 年 8 月 10 日（月）～2026 年 8 月 16 日（日））※情報は 2026 年 8 月 20 日作成の内容です。

★トピックス：レジオネラ症に注意しましょう。

県央保健所管内では、第 33 週にレジオネラ症の報告が 1 件ありました。第 33 週までの累計は 4 件です。本疾患は主に 2 つの病型があり、レジオネラ肺炎は全身倦怠感、頭痛、食欲不振、筋肉痛、咳や 38℃以上の高熱、寒気、胸痛、呼吸困難が見られるようになります。これに対してポンティアック熱は、突然の発熱、悪寒、筋肉痛などの症状がみられますが、一過性のもので自然治癒します。潜伏期間は 2～10 日程度です。主にレジオネラ属菌に汚染されたエアロゾルを吸入することで感染、発症します。代表的な感染源としては加湿器や循環式浴槽などです。エアロゾル感染以外には、汚染された温泉浴槽内や河川の水を吸引・誤嚥した場合や、汚染された土壌の粉塵を吸い込んだことによる感染があります。

加湿器等は毎日水を入れ替えて洗浄しましょう。また、循環式浴槽の場合は浴槽内の汚れやぬめりを落として菌が増殖しないようにしましょう。

★トピックス：海外渡航の際は、感染症に注意しましょう。

夏期休暇を利用して海外へ渡航される方が増えることが予想されます。海外では、日本に常在しない感染症や日本よりも高い頻度で発生している感染症が報告されています。海外滞在中にこれらの感染症への感染を防止するためには、予防方法を知っておくことが重要です。厚生労働省のホームページには海外の感染症の発生状況や予防方法に関する情報が掲載されていますので、渡航先の情報を入手し、体調管理に努めましょう。また、帰国後に症状が出た場合は、医療機関に相談・受診しましょう。その際には、旅行先や滞在期間、飲食状況、渡航先での職歴、家畜や動物との接触の有無などについて必ず申し出ましょう。

○定点把握疾患（県央保健所） ※（―）は、報告なしです。

疾患名	前週 (32 週)	今週 (33 週)	備考	疾患名	前週 (32 週)	今週 (33 週)	備考
インフルエンザ	0.75	0.38		ヘルパンギーナ	―	0.20	
新型コロナウイルス感染症	3.63	0.38		流行性耳下腺炎	―	―	
RS ウイルス感染症	1.80	0.20		急性出血性結膜炎	―	―	
咽頭結膜熱	0.20	―		流行性角結膜炎	―	―	
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.20	0.80		細菌性髄膜炎	―	―	
感染性胃腸炎	1.40	1.00		無菌性髄膜炎	―	1.00	
水痘	0.60	―		マイコプラズマ肺炎	―	―	
手足口病	2.00	0.60		クラミジア肺炎	―	―	
伝染性紅斑（リンゴ病）	0.60	―		感染性胃腸炎（ロタウイルス）	―	―	
突発性発しん	0.60	0.40		急性呼吸器感染症（ARI）	62.75	24.00	

○県央保健所管内の 1～5 類感染症の発生状況（結核を除く）33 週

4 類感染症：レジオネラ症 1 件